ちばの食育推進の重点施策

①親から子へつなぐ生命（いのち）

《施策の方向》

①食は人生初めての冒険です。噛むちからと好奇心を育てる授乳・離乳期からの食育を推進します。
②保育所・幼稚園は、乳幼児が人との関わりの中で基本的な生活習慣を身につける場所です。噛むことを通じて、こころと身体をいきいきと保つ食育を推進します。
③生活習慣病の予防はバランスの取れた食生活から、「脱！メタボ」を推進するため食から始まる健康づくりを推進します。
④家庭は「食を楽しみ育む場」です。家族で食卓を囲み、食の楽しさを伝える食育を推進します。

《重点施策項目》

施策①-1：噛むことから始める乳幼児期からの食育の推進

○噛む力、飲み込む力の育成
○乳幼児期からの食育の推進

保育園・幼稚園関係者向けｰ指導書

保護者向けリーフレット

施策①-2：保育所・幼稚園での食育の推進

施策①-3：県民一人ひとりの生涯にわたる健康づくり

○健康ちば 21 の推進
○健康県ちば宣言プロジェクトの推進
○一人ひとりに応じた健康づくりの推進
○食からはじまる健康づくりの推進
　・子どもの健康づくり
　・家庭に届けるちばの味づくり
　・子ども・若者から発信する健康づくり
○8020 運動の推進

㈳千葉県歯科医師会作成図書

千葉県
「脱！メタボ」
シンボルマーク

健康県ちば宣言

皆さんが一番望むことは何ですか。皆さんが、真の豊かさを実現するためには何が必要でしょうか。自分らしく毎日を過ごし、豊かな人生を送るために、健康はとても大切なことです。

高齢の方も若い方も、障害のある方もない方も、さらには病気にかかっている方も、100人いれば100の健康があり、100の健康づくりの方法がありますが、千葉県は、一人ひとりにとっての健康を、それぞれ大切にしていきたいと考えています。

今、千葉県は新しい時代を迎えています。地域社会の中で一人ひとりの住民が主役となる時代です。誰もが健康で、その人らしく生きることができる「健康県ちば」の実現は、皆さんが自分の健康に関心を持ち、「健康宣言」をしていただくことから始まります。

健康は１日で実現しません。「健康県ちば」は１年で実現できるものではありません。しかし、皆さん一人ひとりの「健康宣言」を積み重ねることにより、日本一の「健康県ちば」が実現すると信じています。

千葉県は、一人ひとりの「健康宣言」の実現のため、健康づくりと医療、そして福祉を連動させ、医療や福祉の関係団体、大学等の教育・研究機関、経済などの分野の団体とともに、全力で取り組んでまいります。

人生のときどきで、千葉で生きてよかったと実感できる千葉、100年先も、ずっとそのような千葉でありたい。千葉県は、600万県民一人ひとりにとっての「健康」が実現し、笑顔で活き活きと暮らせる「健康県ちば」を目指し、そして実現することを、ここに宣言します。

２００８年２月２６日

千葉県知事　堂本暁子

施策①-4：家庭における食育の推進

○親から子へ伝える食育の推進

○家庭教育支援の中での食育の推進

・いきいきちばっ子健康・体力づくり
モデルプランの活用

・家庭教育の支援

・「すくすく　のびのび　子どもの生活習慣改善」
キャンペーンでの取組

○県の関連計画と連携した家庭への支援

○家族みんなで創る食卓

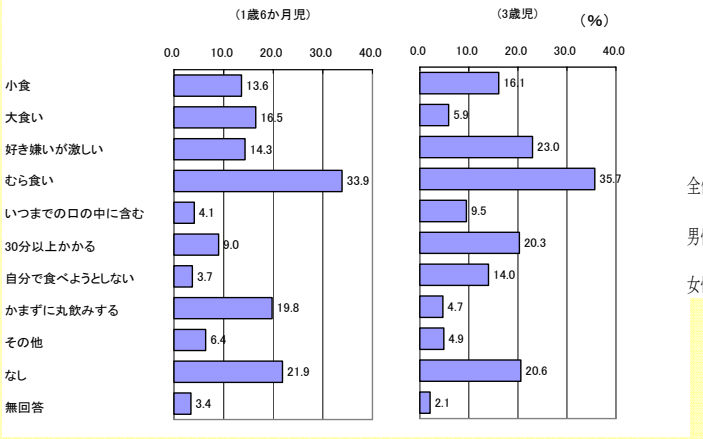
○家庭における安全な食生活の確保

家庭教育手帳 -千葉県版

食の安全・安心レポート

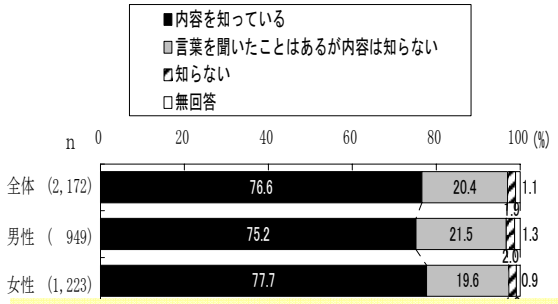
《「食」をめぐる現状》

食事に関する心配事（千葉県）



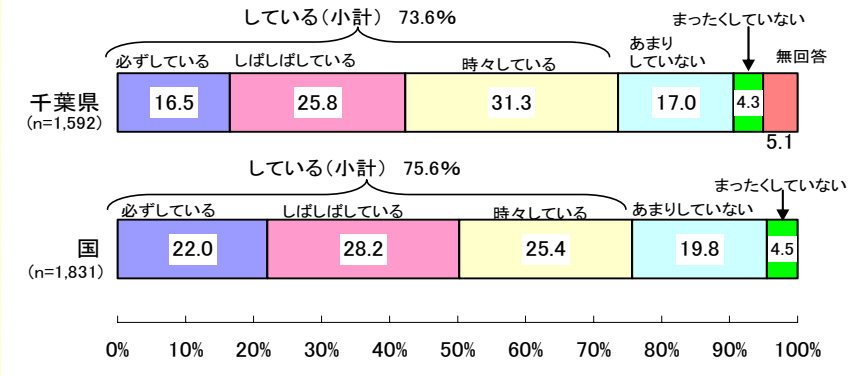
平成 17 年度 1 歳 6 か月児及び 3 歳児歯科保健アンケート（千葉県）

メタボリックシンドロームの認知度（千葉県）



平成 19 年度生活習慣に関するアンケート調査報告書（千葉県）

家族や友人と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を増やすなどの、食を通じたコミュニケーションの充実



平成 19 年度第 35 回県政に関する世論調査結果
「食育に関する意識調査報告書」（内閣府）